



こどもクリニックニュース

NO. 283 令和5年8月1日発行
ともながこどもクリニック

院長の予定 (2023年9月まで)

8月	7日	(月)	3才健診	加須・保健センター
9月	8日	(金)	3ヶ月健診	加須・保健センター
	27日	(水)	9ヶ月健診	加須・保健センター

これらの日は午前の受付を12:00前に締め切ることがあります。また午後の診療開始時間が多少遅れることがあります。

※新型コロナウイルス感染症の流行状況等により、日程の変更があるかもしれません。

夏季休診の予定

8月20日(日)～27日(日)

お盆期間については臨時の休診はありません。

小児科休日診療の当番

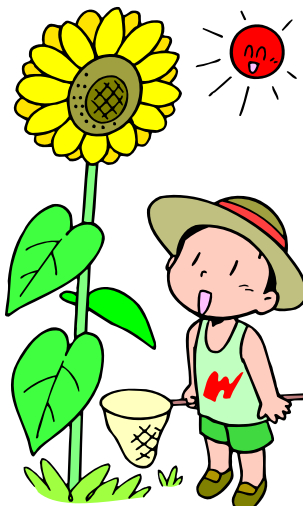
令和5年10月までの当番一覧です。

加須市では、11月～3月は元日を除くすべての日曜祝日に、4月～10月は祝日に小児科休日診療を行っています。

8月	11日	(金)	つのだ小児科医院
9月	18日	(月)	福島小児科医院
	23日	(土)	ともながこどもC
10月	9日	(月)	福島小児科医院

※診療(受付)時間は12:00までです。

当番は変わることがありますので、ご利用の際は加須市のホームページで最新情報をご確認ください。



現在の当院の発熱外来について

発熱外来は引き続き継続中ですが、新型コロナの分類が5類へとされた後、発熱外来対象者の基準をどうしたらよいか試行錯誤をしながら運用しています。最近では新型コロナ以外の各種感染症のほかにも気温の上昇に伴う一過性の高い熱を出すお子様が多いため、当院の発熱外来の対象者の基準を、以下のように変更して運用しています。ご理解とご協力をお願いします。

<引き続き小児限定、完全予約制です>

中学生までの小児に限定しています。

発熱のある方は受診前に電話連絡をお願いします。

当院の発熱外来/検査の対応時間は

9:00～11:30、15:00～17:30、

受付人数は原則として最大30名(土曜日は15名)までとしています。連絡なしの直接来院の場合、お断りする可能性があります。

<発熱外来の対象>

- ① 来院当日に38.0℃以上の熱がある方
 - ② 37.0℃台の微熱でも、家族や身近に新型コロナ陽性者がいる方(いわゆる濃厚接触者)
 - ③ 発熱の無い「濃厚接触者」(せせ症状がある方)
- ※注:それ以外の方は全員、通常診療です。

<検査対象>

上記①②に該当する方は原則としてコロナ抗原検査を行います。(インフルエンザの流行状況によってはコロナとインフルエンザの同時検査キットを使用します。)

※注:上記③に該当する方は検査しません。

感染症の情報

引き続き、ヘルパンギーナと溶連菌感染症、胃腸炎の患者さんが多いです。手足口病とRSウイルス感染症の報告数もまだまだ多いです。

インフルエンザは少なくなってきましたが、この時期にしては多い状況が続いています。

新型コロナは報道等でご存知のように、全国平均で確実に増加中です。当院の発熱外来でも、5月以降ゆっくりですが確実に増加しています。これまでの制限がほとんど解除されて夏休みに入り、お盆も近づいてきましたので、陽性者が減少する要素は全くありません。第9波でしょう。

現在の流行株では若い年齢層の方は軽症のまま回復しているようですので過度な警戒は不要と考えますが、高齢者へは十分に配慮して下さい。



熱中症に注意！！

猛暑日の連続です。

普通の生活をしていても、子供の体温は簡単に上がります。もちろん大人の方も要注意ですね。

お子様が急に発熱しても、他の症状が無く、元気や食欲がある場合は涼しい部屋で半日程度経過を見ることをご検討願います。

インフルエンザワクチン接種計画

そろそろ今シーズンのインフルエンザワクチンの実施計画を立てる時期となりました。まだ確定していませんが、9月上旬に予約受け付けを開始し、10月中旬から接種を開始したいと考えています。詳細が確定しましたらHP等でお知らせします。

薬剤が不足気味？

この数年の事ですが、比較的多くの薬剤の供給量が不十分な状態が続いています。きっかけとなったのは確か、一部の製薬会社の製造工程のトラブルだったと記憶しています。製造した薬物に異物（別の薬剤）が混入していたため、流通している製品の回収のみならず、製造ラインの大規模な改修が必要となり、新規の製造が長期間にわたり中断したのです。製薬会社は複数あるため「品切れ」にはならず「品薄」状態でしたが、社会的な要因の影響が加わったため、薬品によっては「品不足」となってきたようです。

小児の通常の診療で問題になっているのは解熱剤、抗アレルギー剤、カゼ症状の治療薬です。スギ花粉症の舌下免疫治療の薬剤も足りません。足りない理由は明快です。新型コロナ対策が緩和された結果、様々な感染症が一気に流行してきたからです。インフルエンザ、RSウイルス感染症、ヘルパンギーナに手足口病、胃腸炎、などなど、季節外れに流行した病気も加わって、薬剤の需要が増えたからだと考えます。おまけに今年は過去10年間で最も多いスギ花粉飛散があり、アレルギーの治療薬や予防薬の需要も一気に高まりました。

感染症の流行が下火になる事を祈るばかりです。



当院のホームページ

<http://tomonaga-kodomoc.jp>



ともなが
こどもクリニック 

加須市下高柳 1633-1

TEL 0480-66-4150